

こどもたちの笑顔と未来を一緒に守ろう

福岡市立こども病院

FUKUOKA CHILDREN'S HOSPITAL

A young woman with short black hair, wearing a pink nurse's uniform, is smiling warmly at the camera. She is holding a white rectangular sign in front of her chest. The background is a soft-focus outdoor scene with green trees and a white building.

**看護師
募集'23**

こども病院の医療・看護は、 全国から注目されています。

こども病院には、福岡市内はもちろん、沖縄から北海道まで全国から沢山のこどもたちが来院します。こどもたちやご家族に安心していただけるように、やさしく温かい心で看護にあたるのが私たちの役割です。



保育器、人工呼吸器、各種モニターが並びNICUやPICUでは、こどもの命を守るため、集中的な看護が行われています。

一人ひとりのこどもの力を信じ、 「信頼される看護」を目指します。

看護部では「信頼される看護～私たちは、一人ひとりのこどもの力を信じ最善の看護を提供します」という理念を掲げています。これは、こどもと看護職とが、看護を通じてお互いに信頼し合うことを意味しています。こどもたちは、それぞれが皆大きな力を秘めています。最善の看護を提供しながら、こどもたちが持っているその力を信じて引き出していくという役割を私たちは担っています。その過程の中で、こどもとご家族から「信頼」されるよう努力する、その姿勢を私たちは大切にします。この目的のために、部署や職種垣根を越えて、すべてのスタッフと協働して、日々の看護を提供しています。

みんなで育てる教育体制・個々のスタッフの キャリアアップを目指す研修プログラム

新卒新採用者研修

目標

安全・安楽な看護ケアを提供するために必要な基本的知識・技術を学ぶ

4月	採用時集合研修(安全・感染対策・PNSマインド・接遇・メンタルヘルスに関する講義、計算方法の演習、技術演習(注射薬作成、点滴固定、輸液ポンプ操作、電子カルテ操作)ST挿入、経管栄養、吸引、小児看護、保育と遊び
5～6月	SBAR、電話対応、外来ローテーション研修、周産期看護I(CVカテーテル、ドレーン管理)入職後3か月の振り返り
7～8月	リフレッシュ研修、小児の生理、周産期看護II(輸血管理・薬剤管理)看護記録
9～10月	多重課題・時間切迫演習、看護診断、半年の振り返り
11～12月	急変対応(急変時の新人看護師の役割、BLS)スキンケア・褥瘡予防、小児感染症、9ヶ月の振り返り
1～3月	家族看護、看護倫理、1年の振り返り、看護観発表

リソースナース

小児看護専門看護師 ……4名	皮膚・排泄ケア認定看護師 ……1名
認定看護管理者 ……4名	集中ケア認定看護師 ……1名
感染管理認定看護師 ……2名	小児救急看護認定看護師 ……1名
新生児集中ケア認定看護師 ……3名	手術看護認定看護師 ……1名

専門看護師や認定看護師の資格取得に関する支援を行っています。

教育プログラム

卒後2年目研修

目標 スキルアップし、所属部署での役割が果たせる

フィジカルアセスメント、不整脈対応
サポーターの役割、医療安全、看護倫理、家族看護
集中治療室・手術室ローテーション
急変時対応でのメンバーシップ



急変時対応シミュレーション研修

卒後3年目研修

目標 小児看護の専門性を理解し、個別性のある看護を提供できる

後輩育成、リーダーシップ、PNSマインド、看護倫理、家族看護、退院支援、急変時対応でのリーダーシップ、事例報告会



リーダーシップ研修

MESSAGE



福岡市立こども病院
看護部長 三輪 富士代

小児看護・周産期看護のプロフェッショナルとして 私たちと一緒に働きましょう

福岡市立こども病院は、九州で唯一の小児専門の高度医療を提供している病院です。ここで、こどもたちや妊婦さんの“いのち”に携わる看護職の責任は重大です。そのような現場で私たちが頑張っていけるのは、こどもとご家族の笑顔と明るい未来を守っていきたいという強い想いがあるからです。こどもたちが生まれて生きることを支える、不安や苦痛を緩和する、大人になるのを見守るなど看護には様々な場面があります。そのような一つひとつの場面で、こどもとご家族にとっての“最善”を尽くす、それが小児看護、周産期看護のプロフェッショナルとしての責務だと思います。“こどもやご家族への看護がしたい”という熱い志をお持ちの皆様、私たちと一緒に小児看護を基本から学びませんか？
福岡市立こども病院で、私たちと一緒に良い看護を考えましょう。

福岡市立こども病院

すべてのこどもと家族の明るい未来のために、
質の高い医療と看護を提供します。

小児の高度専門医療施設として、一般の医療機関で診断・治療が困難なこどもを対象に様々な専門医療を提供しています。「こどものいのちと健康をまもる～すべてのこどもと家族の明るい未来を願って～」を基本理念として、未来を担うこどもたちが健やかに過ごせるように、安心・安全な医療と看護の実践に努めます。

●こどもたちと家族にやさしい入院環境を提供しています。

こども病院は、こどもたちが治療を受けながら、成長・発達していく場でもあります。新しいこども病院では、空間的なゆとりやあたたかみのあるデザインを取り入れ、プライバシーを重視した個室環境や家族の滞在施設の充実をはかり、こどもと家族にやさしい療養環境を提供しています。



明るいロビー(外来受付)



病棟(個室)

●ワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働きやすい環境です。

働き続けられる職場づくりのために、多様な勤務形態の導入やキャリアアップの支援など、ライフステージに応じた働きやすい環境を整備します。また、職員のこどもを預かるための院内保育園を設置するなど、結婚・出産後も働きやすい職場づくりをしています。



近隣に借上げ宿舎があります。入居条件はありますが、最長2年まで入居が可能です。

5階東

36床、整形・脊椎外科、小児外科、形成外科の混合外科系病棟です。学童期の患児も多く、院内学級との連携も行います。

4階東

34床、循環器科、心臓血管外科、眼科の病棟です。循環器専門病棟として安心・安全な看護の提供と入院から退院後まで一貫した支援を行っています。

3階

産科/MFICU(母体胎児集中治療室): 24床/6床、胎児治療、ハイリスク妊婦を受け入れています。

NICU(新生児集中治療室):21床、低出生体重児、早産児に対し、集中治療と最新の知識・技術を用いた看護を行っています。

GCU(新生児回復治療室):18床、NICUを退室した赤ちゃんをご家族が安心して在宅に移行できるように多職種と協働しています。

<病棟紹介>



5階西

42床、小児感染症科、総合診療科、アレルギー・呼吸器科の感染症・救急病棟です。緊急入院にも安心・安全な看護の提供を目指しています。

4階西

34床、小児神経科、腎疾患科、内分泌・代謝科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、脳神経外科の病棟です。慢性期患児の退院支援や患者家族会など、患児・ご家族の支援を行っています。

3階

PICU(小児集中治療室):8床、心臓血管外科手術後の病棟です。重症集中治療の、専門的かつ細やかな看護を行っています。

HCU(重症治療室):16床、心臓血管外科、整形・脊椎外科、脳神経外科、小児神経科、腎科、ショック後などの重症な患児やご家族が安心して治療・看護を受けていただけるよう努めています。

手術室:7室、年間的手術件数約3000例です。手術室看護師は手術前日に病室を訪問して患児の不安が和らぐように、日々安心・安全な手術看護に取り組んでいます。



診療科目 / 総合診療科、循環器科、循環器集中治療科、小児神経科、腎疾患科、内分泌・代謝科、血液・感染免疫科、小児感染免疫科、新生児科、こころの診療科、放射線科、心臓血管外科、小児外科、整形・脊椎外科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、産科、皮膚科、脳神経外科、麻酔科、集中治療科、小児歯科、アレルギー・呼吸器科、リハビリテーション科、胎児循環器科

病床数 / 239床(PICU8床、HCU16床、NICU21床、GCU18床、MFICU6床含む)

職員数 / 745名(令和4年5月1日現在)

〒813-0017 福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

TEL.092-682-7000(代表) / FAX.092-682-7300

<https://childhp.fcho.jp>

